

【資料1】

愛西市公立保育所の運営等に関する方針及び実施プラン（案）に対するパブリックコメント

募集期間 平成29年2月27日（月）から平成29年3月24日（金）

意見提出 22件

	意見内容	意見に対する回答（案）
第2章 愛西市の児童及び保育所等を取り巻く現状		
3 児童発達支援事業所 1件		
1	出生数の減少に伴う保育園の統合や民営化は良い考えと思うが、園数の減少に一抹の寂しさを覚える。 児童発達支援事業所と保育園については、併設よりも一定の距離を設けた方がよいと思う。	保育所と児童発達支援事業所の併設は理想運営の一つと考えますが、併設するかどうかについては、利用者のご意見を伺うなど、慎重に検討してまいります。
第3章 公立保育所の運営等に関する方針		
1 公立保育所等の役割・機能について		
(1) 公立保育所に求められること 1件		
1	祝日に託児をしてもらえる施設がほしい。	今回の基本方針策定の背景には、保育の質の向上が根底にございます。 保育所の統合・民営化が実施されれば、多様な保育ニーズに応えていくことも可能になると考えます。
(2) 公立保育所の存在意義等 1件		
1	保育園統合後も、障害児や特別支援のいる児童に手厚い支援のできるような人員の配置をお願いしたい。	今回の基本方針策定の背景には、保育の質の向上が根底にございます。 保育所の統合・民営化が実施されれば、多様な保育ニーズに応えていくことも可能になると考えます。
第4章 公立保育所等に関する実施プラン 2件		
1	現状と将来の園児数を考えると、計画に賛成。 人口が増加することを期待。	—
2	保育園の定員割れがもたらす課題が不明確。定員割れをし運営が赤字になるようであれば、運営の効率化を図るなり、地域の方、保育園利用者に支援をお願いするなり、運営の改善に尽力をすべき。 また、愛西市が待機児童がないなど対外的に周知をし、名古屋市などから子育て世代の転入を促進し、定員割れの解消を図るべき。 民間企業では、働き改革など効率化が求められており、業務改善を社員自ら実践している。公立保育園保育士の負担が多く、時間外勤務も多いようであれば、民間の取り組みを参考にすべき。 他市からの子育て世代の転入が難しい場合は、近郊エリアの市民が利用できるよう送迎バスを準備するとともに、愛西市民の保育料と他市民の保育料を異なるように設定するなど施策を講じるべき。 不採算だから民営化を進めるというのは安直に感じる。先に、保育園利用者とともに、運営の改善を検討すべき。	子どもの発達は、集団生活の中で生活することで、自立性、協調性等が培われるものであり、そのために定員割れを解消し適正な保育規模見直しとして統合を進めるものであります。 また、保育ニーズが多様化している中でサービスの充実を図るには、民間の活力を活用し、効率的かつ効果的な保育所運営を行うことが必要と考えており、不採算という理由で、統合・民営化を進めるものではありません。 また、民間保育所に比べて、公立保育所の時間外勤務が多いという事実はございません。 保育料については、市内在住の保護者は、愛西市が条例で定める保育料を他市から市内の保育所に入園する場合は、他市が条例で定める保育料を負担していただくこととなります。 なお、保育所運営の改善については、保育士定員管理、保育所調理業務の民間委託などの取り組みを行っておりますが、引き続き運営の改善に努めてまいります。
1 公立保育所の規模（定員・施設配置）の適正化について		
(1) 公立保育所統合化等の必要性 5件		
1	近くにある保育園の統合などは、仕方がない。 愛西市は、保育料も安く、近隣の市町村と比べ金銭的に魅力があると思う。愛西市の良さをアピールしてほしい。	平成29年度にスマートフォン等を活用して妊娠期から子育て期までの子育てに関する情報を収集のできる子育てポータルサイトを構築する予定であります。 このシステムは、登録していただければ、市外の方もご覧いただけます。 また、市のホームページや広報紙を通じて、周知を図ってまいります。
2	国からの合併特例が減り始める愛西市の財政状況を考慮すれば、定員を満たしておらず、自転車で10分もかからない2保育園を一つにしなければ、施設の維持に無駄に税金を使うことになる。統合には大賛成である。	—
3	中央保育園では、今後役に立つ生活態度など教えていただき、優しい心も身についた。それぞれの保育園には個性があり、教え方も違うので保育園を統合するのは良くない考える。 現在の人数体制であるから、先生の眼が行き届き、いじめのない心優しい子どもが育っていると思う。	子どもの発達は、集団生活の中で生活することで、自立性、協調性等が培われるものであり、そのために定員割れを解消するとともに適正な保育規模の見直しとして統合を進めるものでありますので、ご理解ください。

4	公立保育園は、私立保育園と違い、色々なことを遊びの中で伸び伸びと学んでいけるところが良いところである。 今回の市の方針については、各保育園の保護者の意見をまず募るべきであり、広報の一部に内容の分かりにくいまま、「意見募集」と掲載されても、一般に浸透はしづらいと思う。	今回の基本方針を定めるにあたり、平成26年度に公立保育所4園の保護者に対し、保育所入所に際して重視する項目等の調査を実施しております。 今後につきましては、保護者説明会を開催し、市の保育の現状、方針策定の背景、定員適正化、民営化等について説明をし、保護者の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。
5	保育士不足の状況で、待機児童が生じず、2園が統合し保育の質が向上するのであれば、統合に賛成。 保育の質の向上として、土・日・祝日の保育、20時までの延長保育を望む。	今回の基本方針策定の背景には、保育の質の向上が根底にあります。 保育所の統合・民営化が実施されれば、多様な保育ニーズに応えていくことも可能になると考えます。
2 民間活力の導入について		
(1) 民営化の考え方 2件		
1	公立の児童館、保育園の重要性は、日々身に染みて痛感している。 民間の場合は、労使関係、コスト、利益も無視できない要素であるので、子どものために真摯に取り組むことのできるのは公立であると思う。 少子化、財政力を理由に公立保育園を縮小するのは悲しいことだし、子どものために何が大切かを考え、大人の都合ではない子どものための保育の実施を願う。	保育所の設備及び運営については、保育所保育指針や児童福祉施設最低基準に即した保育を実践する必要がありますので、基本的事項に公立と私立に大きな差異はありません。保育ニーズが多様化している中でサービスの充実を図るには、民間の活力を活用し、効率的かつ効果的な保育所運営を行うことが必要と考えます。
2	公立保育園の良さは一般的に認識されていないかもしれないが、公立には公立の良さがたくさんあると思うので民間委託には反対である。 また、民間に委託し従前と変わらないのであれば、委託も容認するが、指定管理運営を委ねている児童館をみる限り委託には反対である。 市として子どもを育てやすい環境を整えるのが大切であり、入園児童数が減少していくのであれば、統合も仕方がないと思う。	
3 公立保育所運営の適正化に関する計画（案）		
(1) 進め方 10件		
1	佐屋北保育園と佐屋中央保育園の統合は、将来的には必要かと思う。 佐屋・佐織地区だけではなく立田・八開地区にも公立保育園を配置すべき。 保育を必要とされる子どもが入園できないということがないよう余裕のある定員設定を希望する。 「あいさいわかば」と保育園や認定こども園との併設は賛成。	立田・八開地区には、民間保育所が設置されており、減少傾向にある児童数に対し、保育施設の供給過剰が予想される状況であり、立田・八開地区に公立保育所を設置する予定はございませんので、ご理解ください。
2	木造で耐震性の弱い佐織保育園については、移転及び既存施設の利用を考えてほしい。 公立保育園の良さを残したうえ、佐屋北・中央保育園については、児童数と職員のバランスが保てれば、将来的に統合するのによいと思う。統合や移転をし、子どもが伸び伸びと生活でき、保護者が安心しできる園をめざしてほしい。 保育園の防犯対策を強化してほしい。 保育園と児童発達支援事業所を併設するのであれば、新設してほしい。	保育所の防犯対策については、強化を図ってまいります。 保育所と児童発達支援事業所の併設は理想運営の一つと考えますが、併設するかどうかについては、利用者のご意見を伺うなど、慎重に検討してまいります。
3	佐屋中央保育園と北保育園は隣接しているので、今のように伸び伸びとした保育を継続していくのであれば、統合してもよいと思う。 保育園建物の耐震面が心配であるので、補強対策を施していただきたい。	公立保育所の建物は老朽化が進んでおりますが、いずれも耐震基準は、満たしております。今後とも必要に応じ、施設の長寿命化対策を施してまいります。
4	佐屋北保育園は、園庭の広い良い保育園である。中央と北保育園の2園は、2km以内とはいえ市役所をはさむ形で結構遠い。佐屋北保育園を残すように検討してほしい。 私学には補助金をたくさん支給しているので、公立を残した方がよい。	市が民間保育所に負担金及び補助金を支払うのは、主に運営費、施設整備費に対してですが、これらの経費について、民間保育所では、国・県の補助が用意されていますが、公立の場合は、国からの具体的な財政支援のない状況であります。
5	佐屋北保育園は小規模ながら雰囲気、環境など他には類のない保育園だと思う。人員の確保等難しい面もあるが、統合せずに残しておいてほしい。	子どもの発達には、集団生活の中で生活することで、自立性、協調性等が培われるものであり、そのために定員割れを解消するとともに適正な保育規模の見直しとして統合を進めるものでありますので、ご理解ください。

6	佐屋中央保育園と北保育園は車社会では近い距離と言えるが、車を所有していない場合は負担になる距離である。 2園で、公立の利点を生かし異なった環境の保育ができることを考えると統合はできれば避けてほしい。	子どもの発達は、集団生活の中で生活することで、自立性、協調性等が培われるものであり、そのために定員割れを解消するとともに適正な保育規模の見直しとして統合を進めるものでありますので、ご理解ください。
7	佐屋北保育園と中央保育園の統合は、良いと思うが、永和保育園のみ民営化を進めるのは、余り好ましくない気がする。 あいさいわかばについては、保育園と併設するとゆったりとした環境で療育するのが難しくなると思うので、併設は避けた方が良い。 ただし、あいさいわかばの地域の保育園との交流は良いことと思う。	保育所と児童発達支援事業所の併設は理想運営の一つと考えますが、併設するかどうかについては、利用者のご意見を伺うなど、慎重に検討してまいります。
8	市内に民間保育園は他にいくつかあるし、民間の幼児教育を望む家庭は、すでに民間を選択している。佐屋北保育園と中央保育園を統合するのであれば、永和保育園を民間に委託しなくてもよいと思う。 公立の良さを再考するとともに、公立の良さをもっとアピールすべきである。	公立保育所の役割・機能については明確化してまいります。 保育所の統合・民営化が実践されれば、現在公立保育所で未実施の特別保育事業も限られた人的資源の範囲内で推進できると考えております。
9	佐屋北保育園と中央保育園を統合する場合、送迎車の誘導、周辺住宅への配慮、園児の安全確保に注意を払っていただきたい。 統合により、通園地域が拡大されるので、送迎できない保護者、園児に対しての送迎バスの充実が必要。 統合する場合は、十分な教室、園庭が確保され、お預かりする園児にしっかり目が届くのかどうか一定期間の試行が必要に思う。	安全確保など統合によって生じる課題につきましては、事前に調査をし、可能な限り対処してまいりたいと思います。 また、園児の定員については、従来の佐屋中央保育園の定員160名の範囲内での運営となりますので、教室、園庭については確保されております。
10	佐織庁舎を解体するのであれば、完全に更地にし、佐織保育園と敷地を入れ替えるべきであった。 運動会も満足に開催できないほど園庭の狭い佐織保育園を、佐織支所の場所に移転すれば、園児ライフのクオリティを向上できたはず。 市は誤った判断をした。 市内には十分な数の私立保育園が存在するが、佐織保育園の場合、立地の良さによる保護者のニーズが高いので、当面公立保育園として存続させるべきである。 佐織保育園を移転するとしても、駅に隣接する場所でなければ、移転の必要性はなく、現状で、コストの安い方式での建て替えを検討すべき。 将来的に民間保育園の運営を圧迫する事態は解消すべきであるし、正職の保育士を多数抱える財政的な余裕がないということであれば公立縮小も理解できる。 今後、公立保育園は、365日保育、病児・障害児保育といった、真に公的にサポートしなければならない層に特化していくべきと考える。	佐織保育園の老朽化対策については、保護者のニーズが高いという実情をよく認識し、移転、既存施設の利活用等による環境の整備を進めてまいりたいと思います。 また、公立保育所の役割・機能について明確化したうえ、保護者のニーズに応えられるよう、保育の質の向上を目指してまいります。